

灯油残量、センサーで監視

ゼロスベック 配送効率化に寄与

IoT(モノのインターネット)センサーを顧客・ネットサービスマン提供するゼロスベック(多田満朗社長、札幌市中央区)は6月31日、屋外型灯油タンクの残量を遠隔監視する新型灯油スマートセンサーを発売した。と発表された。同社の配送管理システムと連携するIoTによる効率的な配送が可能になる、としている。

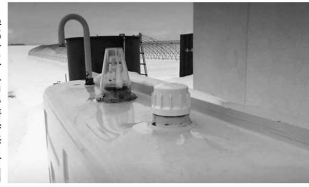
従来、タンク内の灯油の残量を確認するには設置先に出向く必要があり、配送のタイミングを決めるのが難しいという課題があった。また、近年は燃料価格

の高騰や温暖化で灯油の使用量が減少傾向にあるものの、使用量に関係なく定期配送している事業者も多く、配送コストが負担になっていた。

こうした課題に対し、灯油スマートセンサーは、自動発注配送管理システム「GONOW」を2022年に発売。専用のセンサーを給油口に設置することでタンク内の残量を可視化できるほか、過去の配送記録を元に効率的な配送計画を提案する。

リニューアルした灯油スマートセンサーは、計測方式を変更することで、結露や汚れの付着、油の揮発成分の影響を受けず、安定して高い精度で計測できるようになった。

(朽木崇洋)



安定して高い精度で計測